

フィロソフィック・インベストメント・トラストー  
**ウイントン・パフォーマンス連動  
満期時元本確保型ファンド2  
(豪ドル建)**

## 交付運用報告書

作成対象期間 第9期  
(2016年8月1日～2017年7月31日)

その他記載事項  
運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<http://www.sc.mufg.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

**ムーア・マネジメント  
(バーミューダ)リミテッド**

代行協会員

**三菱UFJモルガン・スタンレー  
証券株式会社**

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、フィロソフィック・インベストメント・トラストーウイントン・パフォーマンス連動満期時元本確保型ファンド2(豪ドル建)(以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第9期の決算を行いました。

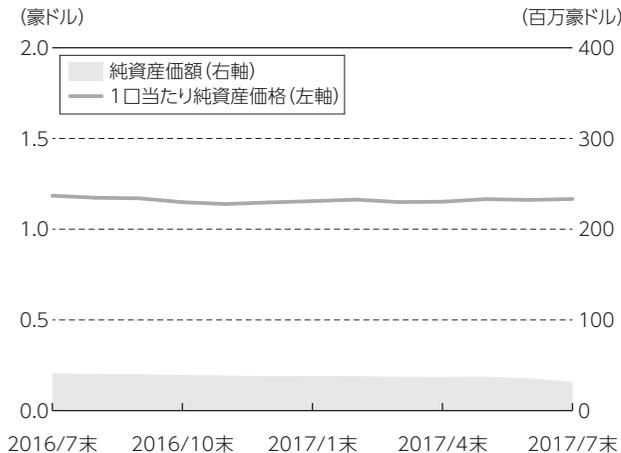
ファンドの投資目的は、最終買戻日(2018年7月2日)をいいます。以下同じです。)における受益証券一口当たり純資産価格が募集価格以上となることを確保しつつ、中期的にキャピタル・ゲインを追求することでした。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第9期末	
1口当たり純資産価格	1.1663豪ドル
純資産価額	31,632,728.59豪ドル
第9期	
騰落率	-1.54%
1口当たり分配金合計額	該当事項はありません。

(注)1口当たり純資産価格および純資産価額は、ファンドの定められた存続期間全体にわたる受託報酬、監査費用およびその他の運用費用に対する準備金を含むものであり、これらの費用を発生時に費用計上しているファンドの財務書類の数値とは異なる場合があります。また、騰落率は、上記の1口当たり純資産価格に基づき計算しています。以下同じです。

## 《運用経過》

## 【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】



第8期末の1口当たり純資産価格：

1.1845豪ドル

第9期末の1口当たり純資産価格：

1.1663豪ドル

第9期中の1口当たり分配金合計額：

該当事項はありません。

騰落率：

-1.54%

(注1) ファンドは分配を行わない方針であるため、課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格を記載していません。以下同じです。

(注2) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ファンドにベンチマークは設定されていません。

## ■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

ファンドの投資対象である9.5年豪ドル建てゼロ・クーポン債(以下「ゼロ・クーポン債」といいます。)の価格は、前期を額面の94%を若干下回ったところで終えていましたが、2017年1月には額面の95%を超え、3月には額面の96%となり、当期末には額面の97%を若干下回るところまで上昇しました。また、同じくファンドの投資対象である9.5年豪ドル建てパフォーマンス・リンク債(以下「パフォーマンス・リンク債」といいます。)の価格は、前期末を額面の約24.4%で終え、2016年10月以降は、2017年2月を除くと額面の20%を下回って推移し、当期を額面の18%を若干上回って終えています。

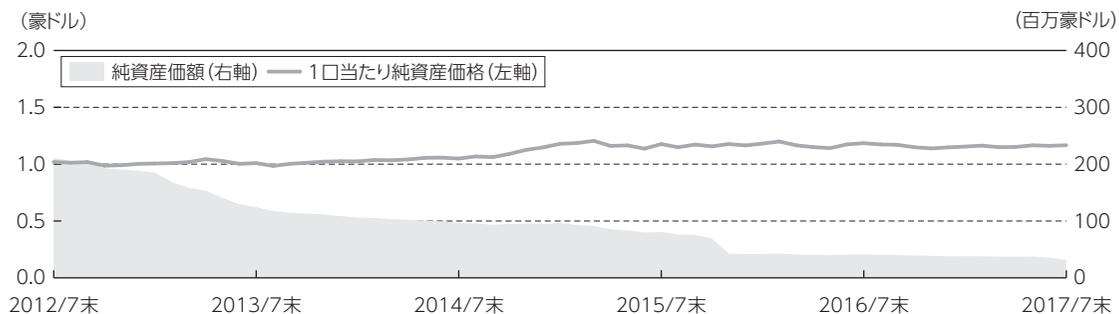
## 【費用の明細】

項目	項目の概要	
管理報酬	報酬対象額(募集価格である1豪ドルに計算の日の発行済受益証券口数を乗じた金額をいいます。以下同じです。)の1億豪ドルに相当する部分までについて年率0.3%(最低年間報酬を2万豪ドルとします。)、1億豪ドルを超える部分について年率0.1%	管理報酬は、信託証書に定める管理会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。
受託報酬および受託事務代行報酬	報酬対象額の年率0.1%(最低四半期報酬5,000豪ドル)	受託会社および受託事務代行会社に対する報酬は、信託証書に基づく受託業務の対価として、受託会社および受託事務代行会社に支払われます。
代行協会員報酬	報酬対象額の年率0.1%	代行協会員報酬は、受益証券1口当たり純資産価格の公表を行い、また受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を日本における販売会社に送付する等の業務の対価として、代行協会員に支払われます。
販売報酬	報酬対象額の年率0.4%	販売報酬は、投資者からの申込みまたは買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、日本における販売会社に支払われます。
その他の費用(当期)	1.56%	弁護士、税理士および監査人の報酬および費用(弁護士に支払う開示書類の作成・届出業務等に係る報酬および監査人等に支払う監査に係る報酬等)、証券取引に関するブローカー報酬ならびに副保管受託銀行の報酬および費用等として支払われます。

(注1)各報酬については、有価証券報告書に定められている料率または金額を記載しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の財務書類上の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2)各項目の費用は、ファンドが組み入れているゼロ・クーポン債およびパフォーマンス・リンク債の費用を含みません。

【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】



	第4期末 2012年7月末日	第5期末 2013年7月末日	第6期末 2014年7月末日	第7期末 2015年7月末日	第8期末 2016年7月末日	第9期末 2017年7月末日
1口当たり純資産価格 (豪ドル)	1.0184	1.0091	1.0491	1.1767	1.1845	1.1663
騰落率 (%)	7.93	-0.91	3.96	12.16	0.66	-1.54
純資産価額 (千豪ドル)	211,411	124,453	96,586	80,582	41,211	31,633

(注) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

## 【投資環境について】

ファンドは、その資産の大半をゼロ・クーポン債およびパフォーマンス・リンク債に投資しています。

管理会社は、ファンドの設定日の後に算定される純資産額の一部をゼロ・クーポン債に投資することにより、最終買戻日まで受益証券を保有する受益者のために豪ドルによる元本確保の達成を目指します。

パフォーマンス・リンク債への投資により、MA WCM FFリミテッド(以下「投資先ファンド」といいます。)のパフォーマンスに対する投資機会を提供していました。2017年7月のボルカー・ルールの実行により、パフォーマンス・リンク債の投資先ファンドへのエクスポージャーは2017年6月30日付で終了しました。

ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド(Winton Capital Management Limited) (以下「ウィントン社」といいます。)は投資先ファンドのトレーディング・アドバイザーを務めていました。

以下の「マーケットレビュー」および「ウィントン・フューチャーズ・ファンドの実績」は、ウィントン社による運用状況に関する説明です。

(第9期のうち、2016年8月1日～2017年6月30日)

### マーケットレビュー

当期の株式市場は、トランプ政権下での拡張的な財政政策に対する期待や米国企業の好決算等を材料に上昇傾向となりました。2016年11月の米国大統領選挙以降は市場に楽観的な見方が広がり、1月にはダウ平均株価が史上初の2万ドルの大台を突破しました。また、好調な経済指標やフランス大統領選挙の結果を受けて政治的懸念が低下したことから、欧州市場も堅調に推移しました。

また、債券市場は、米国の利上げ観測やインフレ期待に伴い下落傾向となりました。期初には、米連邦準備制度理事会(以下「FRB」といいます。)関係者の発言を受けて、年内に米国金利の追加利上げがあるとの観測が高まりました。12月には金融危機以来2度目となる利上げがあり、米国債券市場は下落しました。他方、欧州諸国では、欧州中央銀行(以下「ECB」といいます。)が規模を縮小したものの米国とは対照的に金融緩和の方針を維持しました。2017年に入ると、3月にFRBが追加利上げを行ったものの市場の予想に反して今後の利上げ回数を維持したことや、欧州でも予定される各選挙の結果を巡る懸念から国債利回りが低下しました。しかし6月にFRBが利上げを行い、量的緩和政策を巻き戻す計画を提示し、同月の終盤にはECBのマリオ・ドラギ総裁がユーロ圏のインフレ率について楽観的な見解を示したことを受け、期末には世界的に国債の利回りが上昇しました。

エネルギー市場は、期初は原油の減産交渉の合意から大きく上昇しましたが、その後は暖冬予想を受けて天然ガスを筆頭に下落したほか、期末にかけては協調減産の延長合意の内容に対する失望感や北海ブレント原油の過剰供給への懸念が再燃したことで、原油先物価格は下落しました。

### ウィントン・フューチャーズ・ファンドの実績

ウィントン・フューチャーズ・ファンド・リミテッド(Winton Futures Fund Limited) (以下「ウィントン・フューチャーズ・ファンド」といいます。)は、ウィントン・ファンド・マネジメント・リミテッド(Winton Fund Management Limited)が運用し、ウィントン社が投資アドバイザーを務める外国籍のファンドの名称です。

上記期間において、ウィントン・フューチャーズ・ファンドは、世界株式市場の上昇から収益を獲得したものの、FRBの利上げを巡る動きや原油価格の変動に振られ債券・短期金利およびエネルギー市場で損失を計上したことにより、全体ではマイナスのパフォーマンスとなりました。最も収益貢献度の高かったセクターは株式指数セクターでした。次いで、現物株式セクター、畜産物セクター、農産物セクターの順でウィントン・フューチャーズ・ファンドの収益に貢献しています。一方で、市場の揉み合いや反転に振られたエネルギーセクターおよび債券セクターが最もマイナスに寄与したほか、貴金属セクターや短期金利セクター等からも損失を計上しています。

なお、記載されている運用はウィントン・フューチャーズ・ファンドのものであり、投資先ファンドの運用と必ずしも同じではありません。ウィントン・フューチャーズ・ファンドと投資先ファンドの証拠金に使用されていない預り資産の運用方法は必ずしも同じではありません。

投資先ファンドはウィントン・フューチャーズ・ファンドのパフォーマンスを再現することを目指していましたが、投資先ファンドのパフォーマンスは必ずしもウィントン・フューチャーズ・ファンドのパフォーマンスと正確には一致しません。

### ※ウィントン・フューチャーズ・ファンドのパフォーマンスについて

ウィントン社からは、上記期間に対応するパフォーマンスが提供されていません。ウィントン社から提供された月次のパフォーマンス数値から、上記期間について管理会社が計算したところによると、当該期間についてのウィントン・フューチャーズ・ファンド(米ドル建てトランシェB)のパフォーマンスはマイナス4.68%でした。

### 【ポートフォリオについて】

投資先ファンドへの連動率は、前期を約66.7%で終え、2016年11月までは65%を超えて推移しましたが、同12月には55%を下回り、6月末のエクスポージャー停止時には約53.8%となりました。受益証券1口当たり純資産価格は、前期を1.1845豪ドルで終えていましたが、2016年11月には1.1385豪ドルまで低下した後、当期を1.1663豪ドルで終えています。

### 【分配金について】

該当事項はありません。

## 《今後の運用方針》

ファンドは、今後も、最終買戻日における受益証券1口当たり純資産価格が募集価格以上となることを確保しつつ、中期的にキャピタル・ゲインを追求するという投資目的に従い、ゼロ・クーポン債とパフォーマンス・リンク債への投資を継続します。なお、2017年7月のボルカー・ルールの実行により、2017年6月30日付で、パフォーマンス・リンク債の投資先ファンドへのエクスポージャーは終了し、さらなるキャピタル・ゲインの機会はなくなりました。

ファンドは、早期に終了しない限り、2018年8月9日に終了します。

## 《お知らせ》

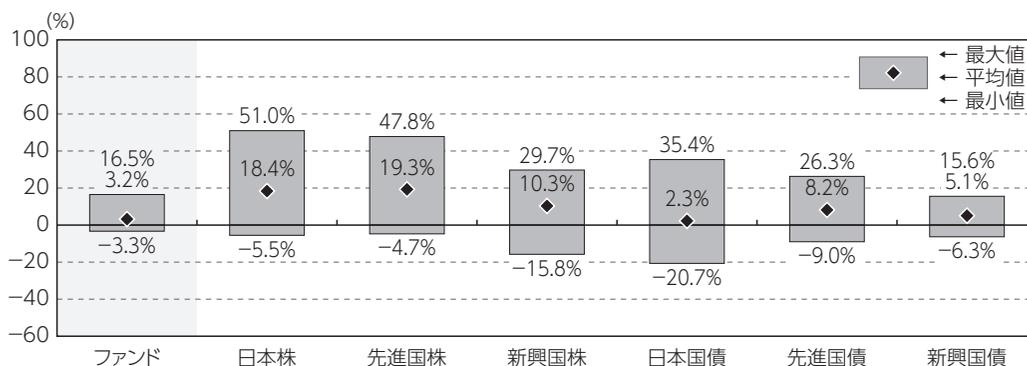
ファンドの受託会社、名義書換機関および保管会社は、バンク・オブ・バーミューダ(ケイマン)リミテッドからHSBCトラスティー(ケイマン)リミテッドに変更されました(2017年8月25日効力発生)。

## 《ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託
信託期間	ファンドは、早期に終了しない限り、2018年8月9日に終了します。
運用方針	ファンドの投資目的は、最終買戻日における受益証券一口当たり純資産価格が募集価格以上となることを確保しつつ、中期的にキャピタル・ゲインを追求することでした。なお、2017年7月のボルカー・ルール of 施行により、2017年6月30日付で、パフォーマンス・リンク債の投資先ファンドへのエクスポージャーは終了し、さらなるキャピタル・ゲインの機会はなくなりました。
主要投資対象	シグナム・モメンタム・リミテッド(Signum Momentum Limited)により発行されるゼロ・クーポン債およびゴールドマン・サックス・フィナンシャル・プロダクツリミテッド(Goldman Sachs Financial Products I Limited)により発行されるパフォーマンス・リンク債
ファンドの運用方法	管理会社は、受益証券の発行手取金の(ファンドの設立および受益証券の募集に関連する費用ならびにファンドの資産から支払われるその他の手数料および費用のための準備金を控除した後の)全額を、ゼロ・クーポン債およびパフォーマンス・リンク債に投資することにより、投資目的を達成することを目指します。管理会社は、ゼロ・クーポン債およびパフォーマンス・リンク債を同数量で購入しました。
分配方針	ファンドは、受益者への分配を行わない方針です。

### (参考情報)

#### ● ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(出所) 指数提供会社のデータを基にアンダーソン・毛利・友常法律事務所が作成

※全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※上記は2012年12月から2017年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※このグラフは、ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

\*各資産クラスの指数

日本株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSA1指数 (配当込) (豪ドルベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (豪ドルベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (豪ドルベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (豪ドルベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド

※日本株および新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより豪ドル換算しています。

## 《ファンドデータ》

## 【ファンドの組入資産の内容】

## ● 組入上位資産

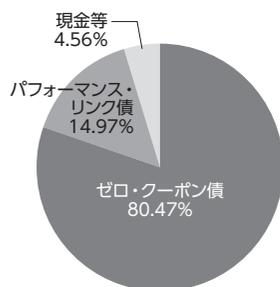
(組入銘柄数: 2銘柄)

(2017年7月31日現在)

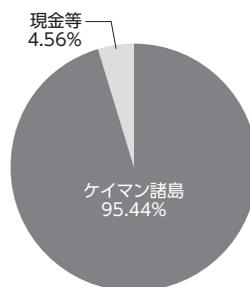
	組入比率
Signum Momentum Limited Zero 2008-02	80.47%
Goldman Sachs Financial Products I Limited Winton 2008-12	14.97%

(注) 組入比率は純資産価額に対する当該組入資産の評価額の割合です。以下の各グラフも同様です。

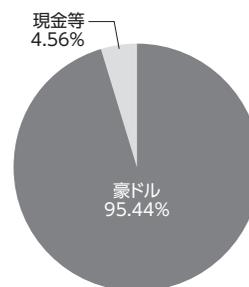
## ● 資産別配分



## ● 国別配分



## ● 通貨別配分



(2017年7月31日現在)

(注1) 上記の比率は、ファンドの純資産価額に対する当該資産の金額の割合を四捨五入して記載しています。したがって、合計の数字が100%とならない場合があります。

(注2) 当期末の組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

## 【純資産等】

第9期末	
純資産価額	31,632,728.59豪ドル
発行済口数	27,120,000口
1口当たり純資産価格	1.1663豪ドル

(単位:口)

第9期中		
販売口数	買戻口数	発行済口数
0	7,670,000	27,120,000
(0)	(7,670,000)	(27,120,000)

(注) ( ) の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。